

2025年12月21日（日）

# 待降節第4主日

クリスマス主日

日本基督教団 大宮教会  
大宮教会ビジョン  
「すべての人を喜びあふれる神の家族へ」  
- 聖書の御言葉に生きる共同体を造り上げる -  
(マタイによる福音書 28 : 19~20)

朝第1礼拝 9:00~10:10

朝第2礼拝 10:30~12:00

＜神の招き＞

前 奏 ①ほめ歌わん、主イエス バッハ  
②甘き喜びのうちに ブクステフーデ

招きの詞 詩編98：1～6

交読詩編 113：1～9

讃美歌 242

＜神の言葉＞

聖 書 イザヤ書60：1～7  
(旧約 聖書協会共同訳 1144 頁)  
マタイによる福音書2：1～12  
(新約 聖書協会共同訳 2 頁)

祈 禱

讃美歌①247

奉 唱②253

信仰告白②日本基督教団信仰告白

洗礼式②

転入会式②

讃美歌②67

説 教 「救い主誕生の喜び」 熊江秀一牧師

祈 禱

黙 想

讃美歌 278 (①4節で中高科退堂)

聖 餐

讃美歌 81

＜神への応答＞

信仰告白①日本基督教団信仰告白

献 金

主の祈り

宣教報告②

頌 栄 27

派遣と祝福

後 奏 ①ベツレヘムに生まれし幼児 バッハ  
②高き天よりわれは来ませり シャイデマン

宣教報告①

夕 礼 拝 18:00~19:10

＜神の招き＞

前 奏 イエス様に誉れがありますように ベーム

招きの詞 詩編98：1～6

交読詩編 113：1～9

讃美歌 18

＜神の言葉＞

聖 書 イザヤ書55：6～7  
(旧約 聖書協会共同訳 1137 頁)  
ルカによる福音書5：27～32  
(新約 聖書協会共同訳 109 頁)

祈 禱

讃美歌 259

説 教 「私に従いなさい」 佐藤潤伝道師

祈 禱

黙 想

讃美歌 531

聖 餐 司式 熊江秀一牧師

讃美歌 81

＜神への応答＞

信仰告白 日本基督教団信仰告白

献 金

主の祈り

宣教報告

頌 栄 26

派遣と祝福

後 奏 イエス様に誉れがありますように ベーム

今週の御言葉

博士たちはその星を見て喜びに溢れた。家に入ってみると、幼子が母マリアと共におられた。彼らはひれ伏して幼子を拝み、宝の箱を開けて、黄金、乳香、没薬を贈り物として献げた。  
(マタイによる福音書2章10～11節)

次週の礼拝 (12月28日)

① 9:00、② 10:30  
説教「神の秘義」佐藤潤伝道師  
イザヤ書42：5～9、  
エフェソの信徒への手紙3：1～13  
交読詩編72：1～7  
讃美歌8、267、529、26

夕 18:00  
説教「喜びも悲しみも主にゆだね」  
熊江秀一牧師  
エレミヤ書31：15～17、  
マタイによる福音書2：13～23  
交読詩編72：1～7  
讃美歌4、262、273、27

■**今週の祈禱課題**■ 独り祈る時、共に祈る時にお覚えください。

1. キリストの体なる教会が豊かに形成される為に
2. 東日本大震災と能登半島地震の被災者の為に
3. クリスマスイブ礼拝の為に
4. クリスマス祈禱会の為に
5. さいたま市民クリスマスの為に
6. 関東教区の為に
7. イスラエルとパレスチナ、ウクライナ、世界の平和の為に
8. 病気の兄姉の為に

**\*関東教区お祈りカレンダー** 上尾合同教会 日野原記念上尾栄光教会 上尾使徒教会

◇先週の説教より 「東方の博士たち」 マタイによる福音書2章1～6節、ミカ書5章1～5節

熊江秀一牧師

東方の博士たちの物語が与えられた。博士たちは星に導かれ、救い主を拝むために遠い東の国から旅をして、御子イエスにお会いする。

博士たちは異邦人であり、星を調べて占いをする者であった。ユダヤ人が忌み嫌っていた彼らがクリスマスの喜びにあふれたことは驚きである。

それはなぜか。彼らが上を見上げることができたからである。人間はギリシャ語で「アンソローボス」上を向く者、神を見上げる者である。しかし私たちはそれを忘れてしまう。ヘロデ王たちも、権力や日常生活に心奪われ、上を見上げる心を失っていた。そんな彼らは喜びではなく「不安」(恐れ)を抱いた。

この「恐れ」は、前回のヨセフの「恐れ」とは違う言葉である。ヨセフの「恐れ」は神を知る者の恐れ。ヘロデたちの「恐れ」は神を見失った者の恐れである。はたして私たちはどうか。東方の博士たちは星に導かれ、上を見上げて旅をした。

東の果て日本に住む私たちも彼らと共に上を見上げて、救い主を礼拝する旅人となることが求められている。

しかし博士たちは旅の終わりに失敗をする。救い主が生まれたベツレヘムでなくエルサレムに行ってしまう。ユダヤ人の王となる方が生まれるのなら、国の中心、それも王宮に生まれると考えるのは当然であろう。しかしそこには救い主の姿はなかった。そして彼らの目から星が見えなくなる。

そんな彼らに再び目を上に向かわせる出会いが与えられる。それは聖書である。ミカ書5章によりメシアがベツレヘムに生まれることを示される。御言葉に従った時、再び彼らの目に星の輝きが見え始める。そして彼らは星の指し示した馬小屋に眠る救い主とお会いする。私たちも東方の博士たちと共に、御言葉という導きの星に導かれ、救い主を礼拝する旅に出よう。

\*礼拝中、起立がご無理な方は、着席のままどうぞ。\*は祈禱当番の方。\*①は朝第1礼拝、②は朝第2礼拝、夕は夕礼拝。